

みんなで
実践!

交通事故防止!

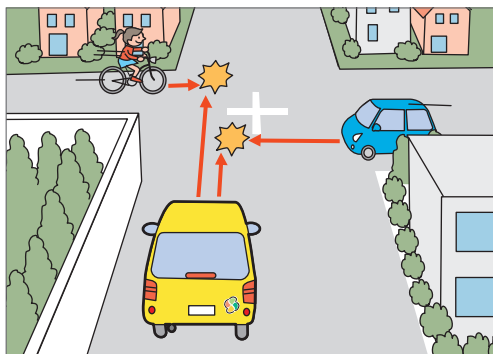
加齢に伴い、視力・聴力・認知判断力や筋力など、身体機能が変化し、また、長年の「習慣」で危険な行動をとってしまうことも。交通事故の「加害者」にも「被害者」にもならないために、身体機能に応じた安全な行動を実践しましょう。

高齢ドライバーに多い事故パターン(※)と必ずやってほしい 3つの行動

※交通事故データは、2011年から2015年までの5年間における警察庁統計による(65歳以上、原付以上第1当事者)

事故パターン 1

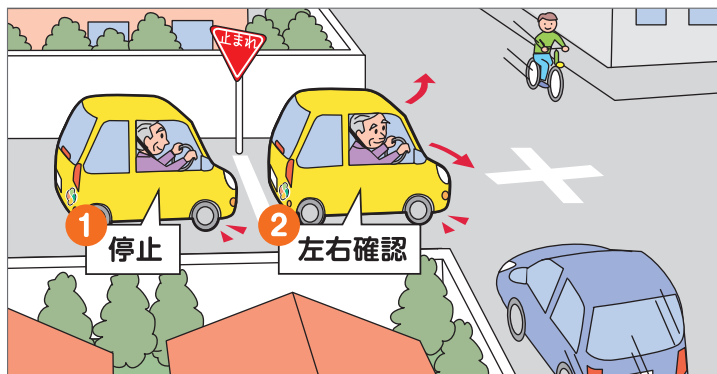
出会い頭の事故が全体の約30%!



行動 1

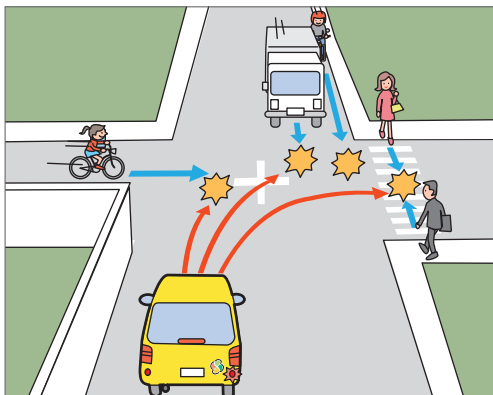
見通しが悪ければ、徐行が必要。

一時停止の交差点では、しっかり停止!



事故パターン 2

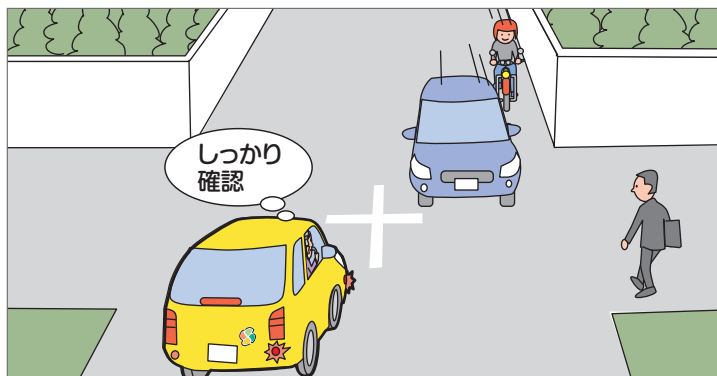
右折中の事故が全体の約17%!



行動 2

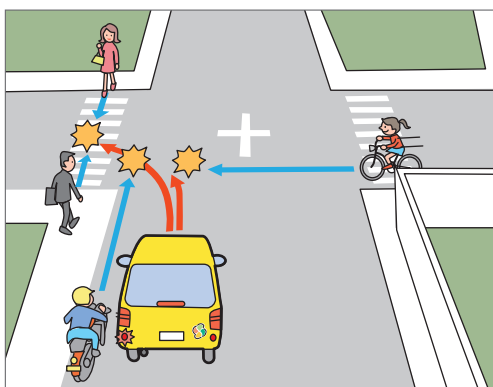
右折は急がず慎重に!

急いで曲がると安全確認がおろそかに。対向車の速度を見誤ったり、対向車の陰のバイクなどを見落とすことも!



事故パターン 3

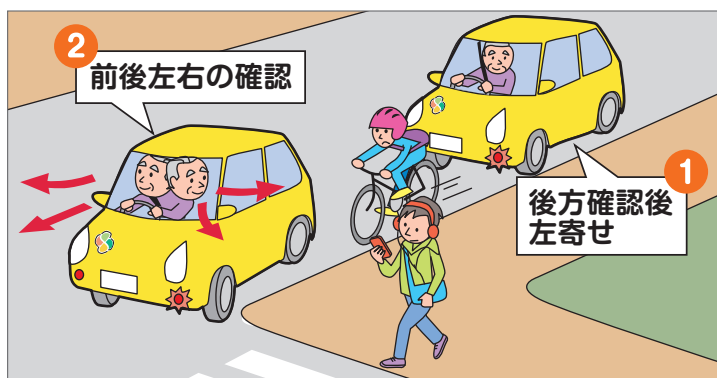
左折中の事故が全体の約9%!



行動 3

左折は後方の確認も大切!

左後方の安全を確認して道路の左端に寄りましょう。徐行して前後左右の安全確認。

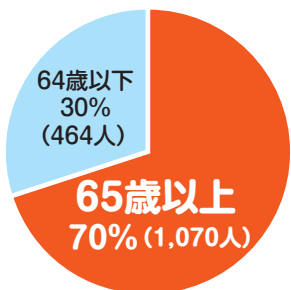


このほか「追突事故」や「工作物に衝突するなどの死亡事故」も多発しています。しっかり前を見て的確な運転操作に努めるほか、体調の悪いときは運転を控えるなどの配慮も必要です。



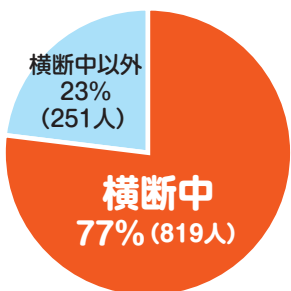
道路の横断中に交通事故に 遭わないための実践 **3**対策!

歩行中事故の死者数のうち
7割以上が65歳以上!



年齢層別歩行中の死者数(※)

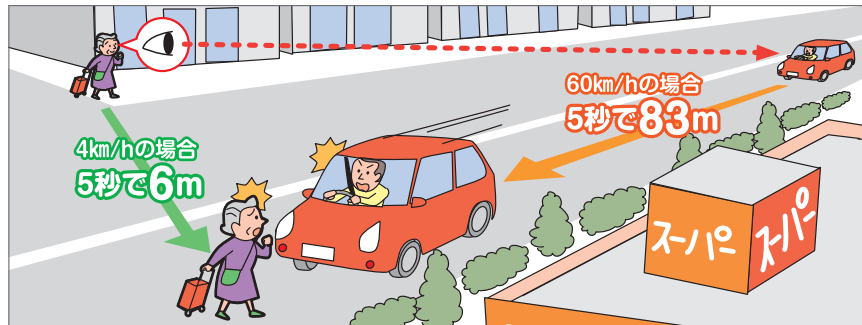
65歳以上の歩行中の死者数は、
その約**8割**が道路横断中!



65歳以上の歩行中の死者数(※)

対策1

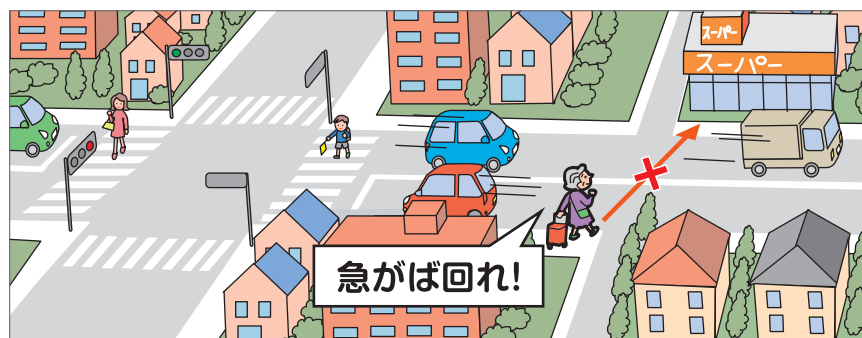
横断の前に**ひと呼吸**おいて、**左右の安全確認!**
近づいてくる車が見えたら、遠くても要注意。
通りすぎてから余裕をもって渡りましょう!



車が来るより先に渡りきれれると思っても、加齢に伴い歩行速度は低下します。
さらに時間がかかって危険な「斜め横断」は禁止されています。

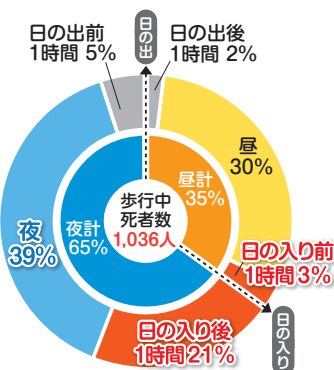
対策2

昔からある**生活道路と交差する広い道路に注意!**
道路によって車の流れは大きく違います。また、道路環境は時代とともに
変化します。信号機のある交差点や横断歩道などを渡りましょう。



「通行車両の直前直後の横断」は禁止されています。

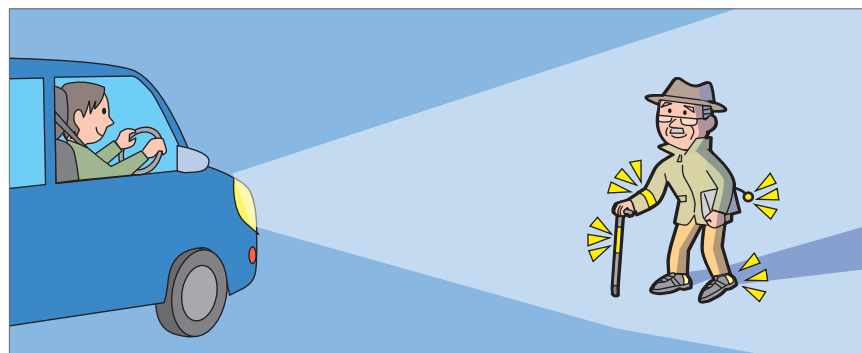
歩行中の死者数のうち
2割以上が夕暮れの時間帯!



対車両の歩行中死者数
(第1・第2当事者)(※)

対策3

夕暮れから**夜間**、**早朝**は**反射材**を付けて、
自分の存在を車にアピール! 車のライトがついていても、
ドライバーから歩行者が見えているとは限りません。



反射材は靴の側面やかかと、杖などに付けると効果的!
明るいい色の服を着るだけでも効果があります。

※交通事故データは、2015年中の警察庁統計による